

I LAL ネットワーク

第 82 号 2025 年 4 月号



女子力で
建築業界に
新しい価値を創りだしていきましょう！！

目次

- ◇はじめに
- ◇令和 6 年度全国女性建築士連絡協議会報告
- ◇日本建築士連合会女性委員会の活動に参加して
- ◇令和 6 年度セミナー報告 わくわくセミナー&ラブアークセミナー
- ◇各支部活動報告
- ◇会員活動紹介
- ◇女性委員会メンバー紹介
- ◇令和 7 年度女性委員会セミナー年間スケジュール
- ◇あとがき



I LAL NETWORK

(一社) 茨城県建築士会女性委員会

はじめに

女性委員長挨拶

この度、小貫弘巳委員長の後任として令和6年度より委員長に就任しました大谷美由紀です。これまで4期を女性委員会の一員として活動して、今年度は5期目、委員長という大役を務めさせていただきます。委員の皆さんと協力しながら、会員の皆さんが刺激となり、楽しめる、そして広く社会のためになるような活動に取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

女性委員会の活動紹介

茨城建築士会には現在151名(令和6年11月時点)の女性建築士が所属しています。

そして、女性委員会では10名の委員が委員会活動を担っています。

★女性委員会の主な活動には『わくわくセミナー(年9回開催)』と『ラブアークセミナー(年6回開催)』があります。わくわくセミナーは主に県西県南地域で開催され、ラブアークセミナーは県央県北地域で開催されています。毎年1月に開催される企画会&新年会で次年度のセミナーの企画を募り、企画選定と開催月、担当の割り振りが行われます。その内容は、見学会、ワークショップなど。座学では法規、住設、防災など多様なテーマを取り上げています。毎回、担当者の皆さんのご協力により、多彩な講師陣、充実した内容で開催されています。コロナウィルス禍を抜け、今年度は全てのセミナーが対面式で行なわれ、多くの方にご参加いただきました。

★本誌「アイラルネットワーク」は年1回発行しています。年度内に開催されたセミナーの活動報告や各支部の女性部の活動報告、全国女性建築士連絡協議会への参加報告、女性会員の活動紹介などが主な内容となっています。会員の皆さんに女性委員会の活動について知ってもらうことを目的とし、活動に参加されたことがない方の参加のきっかけになればと思っています。

★全国女性建築士連絡協議会は、本年は東京開催で、茨城県からは8名が参加しました。全国から女性建築士が集う年1回の大会です。女性建築士で埋め尽くされた会場は圧巻です。本誌、参加報告をご覧ください。

女性委員会の活動は、会員間の情報交換の場、交流の場をつくりだすこと、個々の仕事だけでなく日々の暮らしにも役立つものになりたいと思っています。皆で集い、楽しい時間を共有出来たら嬉しいです。一人でも多くの女性建築士の参加をお待ちしています。

よろしくお祈いします(〇)



←前小貫弘巳委員長(左から2番目)と新役員
大谷美由紀委員長(左から3番目)
轡田久恵副委員長(右端)
近藤あすか副委員長(左端)



令和6年度 第33回全国女性建築士連絡協議会(東京)報告

未来へつなぐ「まち・ひと・建築」～インクルーシブな社会を目指して～

本年度は、7月14日(日)、15日(月・祝)の2日間、建築会館(東京都港区芝)にて開催されました。1日目に参加者して頂いた劉さんに感想を寄せて頂きました。

土浦支部 劉 翠平



2024年7月14日、日本建築学会の建築会館ホールにて、第33回全国女性建築士連絡協議会に参加し、被災地報告や活動報告、さらには基調講演を拝聴しました。

基調講演では、TOTO(株)の真島様と(株)日建設計の畑島様から、トイレのあり方について貴重なご講演をいただきました。社会の変化に伴い、トイレのあり方がどのように進化していくのかを、複雑なテーマを分かりやすくストーリー仕立てでお話しされ、聴衆の心をつかむ内容でした。開発者や設計者の視点から、誰もが安心して利用できる快適な建築についての共感が多く、思わず「そうだ」と頷く瞬間が何度もありました。また、自分では気づかなかった視点から多くのことを学ぶことができ、今後の生活や仕事に活かしていきたいと強く感じました。

令和6年の能登半島地震に関する被災状況などが、石川県、富山県、福井県、新潟県の建築士会から報告がありました。女性建築士として、震災に備えるための活動を常に行うことが求められています。私は、応急危険度判定士として先輩方の姿を見習い、日々学びを深めていきたいと考えております。交流会で、同じバックグラウンドを持つ女性建築士と名刺交換をし、新しい友人ができたことを大変嬉しく思っています。また、さまざまな意見を伺うことができ、非常に充実した時間を過ごしました。特に、他の参加者の経験談や考え方に触れることで、自分の視野が大きく広がったと実感しています。共通の関心を持つ方々と出会えたことは、今後の交流を深めていく上で大きな財産になると感じています。

畳製作コーナーにも立ち寄りました。畳は昔から利用されている伝統的な床材ですが、最近では材質の改良やデザインの多様化が進んでおり、非常に驚かされました。ユネスコの無形文化遺産に登録されているこの素晴らしい技術を、ぜひ木造以外の建物にも取り入れていただきたいと思います。畳の魅力を広め、次世代に受け継いでいくためにも、さまざまな場面での活用が期待されます。

会場参加の協議会は、どのセッションも非常に印象深い内容でした。発表を行ってくださった方々、準備に尽力された方々、そして参加された皆様、本当にお疲れ様でした。心より感謝申し上げます。



2日目はそれぞれのテーマを持つA～G、7つの分科会に分かれコメンテーターによる報告を聞き、質疑・意見交換を行ないました。今回はD分科会について報告いたします。

D分科会「変えていく！建築士会」ーバージョンアップへの道ー 参加報告

行方支部 大谷美由紀

会員数の減少、年齢構成の変化（高齢層が多く若年層が少ない）は茨城県でも問題視されていることです。他県の皆さんはどのように考え、どのような取り組みを行なっているのか、聞いてみたいと思い今回はD分科会に参加しました。分科会では、前半、愛知県建築士会の会員拡大の取り組みについて杉原尚子さん、丹羽哲矢さんの事例報告を拝聴いたしました。主に「入会者、若者を増やす」ことを目的とした会員制度の確立や学生会員との交流会開催などについてです。



後半は、3つのテーマでグループに分かれてワークショップを行ないました。

テーマ①「建築士会をアピール！」キャッチコピーをつくろう！

できたキャッチコピーは⇒『仲間と繋がることで世界が広がる とにかく楽しい第三の場所』

テーマ②プレゼンワーキング『予算5万円！魅力ある事業を提案』

テーマ③ワンテーマディスカッション

『バージョンアップするためには何が必要か？どうすればよいか？』

まとめた意見がこちら⇒旧来のやり方を見直し、若い人の意見、価値観を取り入れる/建築士会を一般の方にも知ってもらう/楽しそうに活動している、やりがいを感じているアピール！

ワークショップでは、どのグループも活発な意見交換がされ、皆さん時間が足りない様子でした。全国の建築士会、抱えている悩みは一緒なことを痛感しました。しかしながら、本大会に参加して全国各地の方と建築士会についてお話をする機会を得られたことが一番の収穫でした。



会場内の様子



参加者(茨城県)集合写真

日本建築士会連合会女性委員会ホームページのご案内

日本建築士会連合会女性委員会のホームページでは全国女性建築士連絡協議会の要旨集、動画などを掲載しています。ぜひご覧ください↓
<http://kenchikushikai.or.jp/torikumi/jyoseiinkai/index.html>



ホームページ QR コード



前小貫弘巳委員長は、2022 年から 2024 年、日本建築士連合会女性委員として幅広く活動されました。その活動の内容や経験談を次項にご紹介いただいていますのでご覧ください ▶▶▶ P5 へ

令和7年度全国女性建築士連絡協議会のご案内



令和7年度 第34回全国女性建築士連絡協議会 山形大会 (プログラム案)

テーマ 『山形から発信みらいへつなぐ木への挑戦』 (仮称)
 ～雪・山・川がおりなす食文化と共に～

令和7年7月19日 (土)

[全国女性委員長 (部会長) 会議]	12:00～13:45	山形テルサ
[受付]	13:00～14:00	山形テルサ
[大会]	14:00～17:30	山形テルサ
[交流会]	未定	

令和7年7月20日 (日)

[分科会]	9:00～11:00	山形テルサ
[全体会]	11:20～12:10	山形テルサ

会場 (山形テルサ) へのアクセス (山形県山形市双葉町1丁目2-3)

○JR山形駅からのアクセス 徒歩約10分

令和7年
 7/19(土) 20(日)
 開催地は
 山形です!



日本建築士連合会女性委員会の活動に参加して

県央支部 小貫 弘巳

2022年から2024年の2年間、(公社)日本建築士連合会女性委員会関東甲信越B委員として全国女性建築士連絡協議会の大会と建築士会全国大会女性委員会セッションの企画運営に携わりました。全国大会は秋田大会と静岡大会。全建女分科会では、テーマ一年目「(茨城) いばらき木造塾」、二年目「(香川) 民家の土塀修復・保存の取り組み」でC分科会を担当。例年通りなら、PPTスライド発表とカメラ等の準備でそれほど大変ではなかったのですが、コロナ禍ということもありオンライン配信は必須。そのため「会場+オンラインのハイブリット開催」となり、会場設営準備のほか、配信のための準備や各セッティング、リハーサル、本番でも様々な問題に対応することとなりました。



<全建女石川大会> C分科会「いばらき木造塾～伝統技術の継承～」



前日のリハーサルでは慣れない配信準備にみんな悪戦苦闘しました。当日は貴重なお話しと多くの意見交換ができ有意義な時間となりました。

<全国大会静岡大会女性セッション>

思いっきりバージョンUP! ～女性も青年も参加したい「魅力ある建築士会」とは～



<全建女東京大会> C分科会「民家の土塀修復・保存の取り組み(香川)」



日本建築士連合会女性委員会において取り組んでこられた全国の和の空間ガイドブック Web版。製本にするため担当した一都九県の原稿取り纏めは大変でしたが、無事に石川大会において配布することができ嬉しかったです。この二年間を振り返ると苦労もありましたが、懇親会、飲み会や各ブロック委員方々との交流を交えて様々な活動を知る良い機会となり、また、多くの事を学ぶことができたことは私にとって大変貴重な経験となりました。有り難うございました。



令和6年度各セミナー報告 <わくわくセミナー・ラブアークセミナー>

4月



4月わくわくセミナー「茨城県南地域の水事情と住環境」

日時：令和6年5月25日(土)土浦市三中地区公民館
講師：沼澤篤氏(霞ヶ浦水質調査協会・元霞ヶ浦環境科学センター委託職員)内容：霞ヶ浦に関する歴史及び現在の水環境について学ぶ◆水をきれいにする大切さを学び、生活排水等の排水事情についても設計者として考えさせられました。



5月

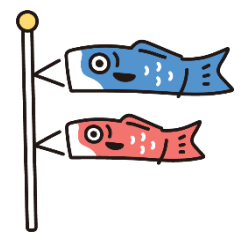


5月わくわくセミナー「モンゴル体験・ゲル見学会」

日時：令和6年5月25日(土)
内容：筑波山ゲルグランピング(石岡市)の見学、オーナーのチメツツェレン・アムルゾル氏にお話を聞き、モンゴルの映像を見ながら、モンゴルの食事を楽しみました◆ゲルの構造・造り方を詳しく説明していただき勉強になりました。また、日本はモンゴルと異なり雨が多く湿気もあるのでカバーの傷みが早いとの事、苦勞されている様でした。筑波山系の緑に包まれて、モンゴルの文化に触れた一日でした。

5月ラブアークセミナー 「ARTISAN 水府見学会」

日時：令和6年5月25日(土)
講師：；和田律子氏 和田則男氏(株式会社 エス・ディ・ワークス) 内容：古民家リノベーションと活用について学ぶ
感想はコチラをご覧ください▶▶▶ P10



6月



6月わくわくセミナー 「スマートハウスについて」

日時：令和6年6月24日(月)LIXIL つくばショールーム
内容：世代によって家に求められるものの違いや傾向、スマートハウスの現状、可能なことは何かなどをショールーム見学とサンプルを見ながら学習しました。
◆世代で求めるものが大きく違い、それに寄り添えるしっかりした知識を身につけなければ、本当に置いて行かれそうです。それを知る大変有意義な勉強会でした。

7月



7月わくわくセミナー 「ZEBを学ぼう！」

日時：令和6年7月18日(木) 土浦市三中地区公民館

講師：平田佳也氏(ダイキン工業株式会社)

内容：2030年ZEB化の義務化について/ZEBの種類とそれぞれの評価基準について/ ZEBPROの紹介とZEB化を目指すポイントなど◆ZEB化には、外皮の性能を上げないといけないと思っていましたが、空調換気、照明の設備機器だけでZEB化を目指せると学び、改修案件でも、提案の可能性があることがわかってよかったです。



7月ラブアークセミナー 「インテリア講座」

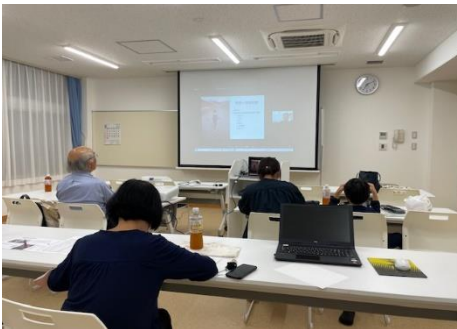
日時：令和6年7月27日(土) スタイルショップ水戸店

講師：野口 礼氏(株式会社アクタス) 内容：現地を視察した様子やミラノサローネから見る世界のトレンドを軸に、テクスチャー、カラー、建材などのトレンド情報をご紹介いただきました◆ハイエンドが主流のミラノサローネのトレンドと北欧インテリアの違いやこれから流行りそうな色やブランドなどのポイントを学ぶことができました。



8月はお休み

9月



9月わくわくセミナー「AIにパースを描いてもらおう」

日時：令和6年9月25日(火) 土浦市三中地区公民館および

オンライン 講師：大西崇之氏(大西崇之建築設計事務所)

内容：生成AIの仕組みと技術、使い方の例を学び体験する

◆今までChatGPTとか生成AIの仕組みが分からず、どうして命令を聞いてくれるのか不思議でしたが、なんとなく原理が分かったような気がしました。使いこなすには、「文字で伝える」特訓が必要だと感じました。

9月ラブアークセミナー 「改正相続法・空き家問題編」

日時：令和6年9月11日(水) 茨城県総合福祉会館

講師：諏訪知子氏(司法書士)

内容と感想はコチラをご覧ください▶▶▶ P11

10月



10月わくわくセミナー

「オリジナル鉄庫(てつくら)の家の話等」

日時：令和6年10月22日(火) 土浦市三中地区公民館

講師：枝川良昌氏(株式会社エダカワ) 内容：オリジナル商品の開発話、特許登録、意匠登録、商標登録を取得した経緯等のお話を聞きました◆メリット、デメリットを含んだリアルな話に加え、新しいビジネスのヒント、特許の分野の話をも聞くことができ勉強になりました。

11月



11月わくわくセミナー 「樹木医って何？」

ー樹木医の利用と樹木を扱う基本についてー

日時：令和6年11月21日(火) 土浦市三中地区公民館
講師：二階堂太郎氏(国立科学博物館 筑波実験植物園・樹木医学芸員) 内容：樹木医の仕事について、樹勢判断の仕方、害虫診断の仕方など樹木を扱う基本や診断例など教えて頂きました。◆樹木医の仕事の内容から、樹木を扱う基本、植物の仕組み、構造、生理の勉強と自然環境まで多岐に渡る講座で視点を変えてくれる良い講座でした。

12月



12月ラブアークセミナー 「教えてもらおう!! 剪定体験」

日時：令和6年12月7日(土) 水戸市内施設の庭
講師：鈴木重文氏(有限会社 鈴木緑化サービス)
内容：・剪定体験(実際に剪定をしながら、切ってもいい枝ダメな枝、注意事項などを学ぶ) 剪定方法や時期、雑草処理の仕方など、庭の? (はてな) を剪定のプロに聞く。
◆木々によって剪定時期や剪定方法が異なることや、作業をする上で危険も伴うということ、安全に作業をするための注意事項を学ぶことができとても勉強になりました。

1月 企画会&新年会



わくわくセミナー

日時：令和7年1月23日(木)

場所：パエリアダイニングポコ・ロコ



ラブアークセミナー

日時：令和7年2月1日(土)

場所：清香庵 M-GARDEN

企画会は毎年、新年会を兼ねて開催されます。美味しいお料理を頂きながら、お互いの近況報告をしたりして、和気あいあいとした雰囲気で行なわれました。

参加者でセミナーのテーマ案を出し合い、その中から実施するものを選びました。令和7年度も盛り沢山の内容になっています。開催スケジュールはコチラをご覧ください▶▶ P20

2月



2月ラブアークセミナー 「ニホンミツバチの飼育入門」

日時：令和6年2月16日(日) いばらきフラワーパーク

講師：久保田満雄氏(日和庵) 内容：前半は座学、後半は講師の案内で園内に設置してある巣箱を見学◆ニホンミツバチの歴史・生態などの基礎的なこと、分蜂や捕獲について、巣箱の構造、飼育管理など実践的なことなどが巾広く学習でき、ニホンミツバチへの理解を深めることができました。セミナーを通して、環境に良い暮らしとは一体どういう暮らしなのか改めて考えさせられました。

3月



3月わくわくセミナー「古民家の構造の成り立ち」

日時：令和6年3月11日(火) 土浦市三中地区公民館

講師：安藤邦廣氏(筑波大学名誉教授・里山建築研究所主宰) 内容：古民家の構造の成り立ちを考えながら再生の方法を考える◆上屋と下屋、折置組と京呂組など民家の基本的な構造をスライドと図解でわかりやすく説明して頂き、美しい木組の古民家の良さを改めて感じました。先生が設計された古民家再生の事例など見せていただき大変勉強になりました。

講師の先生方、そしてセミナーの企画運営に携わってくれた担当者の皆さまにはたいへんお世話になりお礼申し上げます。皆さまのおかげで本年度も計画していたすべてのセミナーを無事に開催することができました。ご参加頂いた皆さま、ありがとうございます。コロナ禍が落ち着き、対面セミナーがほとんどになりました。対面セミナーは、やはり内容も伝わりやすく、参加者同士のコミュニケーションもとりやすいという利点があります。来年度も、皆さまのご参加をお待ちしています！

ご協力ありがとうございました(〃)

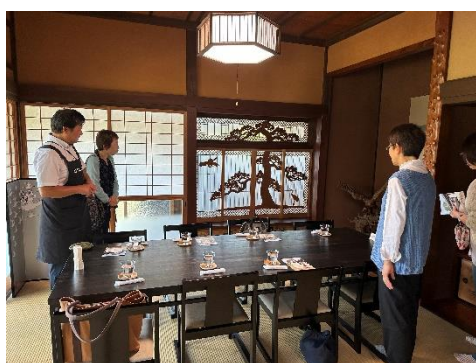


セミナー報告①

「ARTISAN 水府見学会～古民家リノベーションと活用を学ぶ～」



建物外観 集合写真



建物の説明をする和田氏(左端)

また当日は、素敵な雰囲気のカフェで参加者の方々と美味しいランチを頂きながら、どこか懐かしい空間にすっかり落ち着いてしまい、時間を忘れていつまでも滞在したくなりました。和田氏ご夫妻やスタッフの方々のおもてなしで、心から癒される時間が待っていますので、皆さんもぜひ訪れてみてくださいね。

日立支部 近藤あすか

今回のセミナーでは、常陸太田市の古民家を改修し簡易宿泊所をご経営され、建築士会会員でもある和田氏ご夫妻に講師をお願いし、改修された際のお話を伺いました。青空が広がる5月のさわやかな日に、見学会は行われました。「ARTISAN 水府」はカフェ、レンタルスペース、簡易宿泊所として2023年にオープンし、都会の喧騒から離れたゆったりとした里山の暮らしをご提案されています。

自ら設計されたご夫妻により、内外装のご説明や改修された際のポイントをはじめ、カフェを設けることで地域の方々が気軽に集まれる場所としても大変喜ばれているお話などをお聞きしました。ご夫妻の活動が空き家問題の解消の一助となり、さらに地域の活性化につながっていることを実感しました。私自身も今後の生活や過ごし方としてとても参考になり実りある体験ができました。



お茶を点てて頂きました

「超小集電」ワークショップに参加して

番外編



2024年5月のラブアークセミナー「ARTISAN 水府見学会」の後、県央支部和田さんご夫妻にお誘い頂き、常陸太田市内にある「超小集電」実験場「空庵」(KU-AN)にてワークショップに参加しました。

「超小集電」とは微生物燃料電池の研究をされている中川聡氏(トライポッドデザイン(株)CEO)が発見した、土などあらゆる自然物を媒体とし集電材(電極)を介して微小な電気を収集する技術のことです。私はワークショップに参加するまで、この技術について知らずにいたので大変勉強になりました。参加者の中にはすでに複数回参加されている方が多く、この技術はもちろん、中川氏のお人柄やお話に興味がある方が多いことを知りました。



制作したガーデンライト

ワークショップではこの「超小集電」の技術を用いたガーデンライトを作成し、慣れない作業ではありましたが、県央支部の轡田久恵さんと楽しく作る事が出来ました。作成したガーデンライトは、'空庵'敷地内のイングリッシュガーデン風の庭に埋めました。出来上がった時には辺りは暗くなっていましたが、ガーデンライトのほのかな明かりがとても優しい雰囲気癒されたのを覚えています。自然のものから電気を創り出す事が出来たら、省エネはもちろん電気の行き届かない地域の照明や非常用の明かりとしても使用できるので今後の研究が楽しみです。

セミナー報告②

「改正相続法・空き家問題編」

県央支部 飛田直身

管理不全の土地・建物及び空き家が増加している中で2023年4月相続による法改正が施行されました。法改正が行われた経緯として、管理不全の土地・建物 空き家の増加、所有者・共有者が不明等で相続問題が深刻化している状況にあった為だそうです。

2024年9月ラブアークセミナーでは 司法書士 諏訪知子先生をお招きし、今回の改正相続法を解りやすく解説して頂きました。

今回セミナーでお話して下さった法改正とは次の4項目になります。

- 1、所有者不明・管理不明の土地建物管理制度の新設
- 2、共有者不明共有物の利用の円滑化
- 3、長期間経過後の遺産分割の見直し
- 4、相続土地国庫帰属制度の新設



私が興味深かったお話は 4、相続土地国庫帰属制度の新設の内容でした。

土地の管理が大変、負担が大きい、相続した土地を手放したい、などの理由で発生する所有者不明な土地を一定の要件を満たしお金を払って、相続した土地を国に引き渡せるという方法です。

放置した土地は管理せず荒れ放題になり、隣地の方にも迷惑がかかるなど 個人としても不明な土地があるのはとても不安な事でしたが、今回の講習会を聞いてから不安が解消されたように思います。

講習会では19名の方に参加頂きました。「丁寧な説明で理解が深まった。」「当事者にならないとわからないので勉強になった。」「またの機会を期待しています。」など感想を頂いたこと、会場でも質疑応答も多く、参加者皆さんの熱心さが伝わってきてとても有意義な講習会になりました。



各支部活動報告<ひたちなか支部>

ひたちなか支部 浜中 本子

毎年恒例の東海村文化祭の出展を今年も担当しました。今回も子供向けにコースター作りを企画しました。サンドペーパーで研磨し蜜蝋で仕上げてもらいました。パネル展示も昨年同様、女性委員会で取材した魅力ある和の空間ガイドブックの茨城版を合わせて展示しました。



今年は特に他に活動はなかったので、個人的活動の報告です。先日2月23日天皇誕生日に成田山新勝寺に参拝してきました。まずは急な石段を登りやっとの思

いで見上げると1831(天保2)年再建の国指定重要文化財の仁王門が厳かに迎えてくれました。それから本堂を参拝し、梅の咲いた庭を眺め、1701(元禄14)年に建立された重要文化財の光明堂や



1858(安政5)年に建立された重要文化財の釈迦堂をめぐりました。他にも江戸時代に建立され現在まで姿を残している建物や石仏、石塔があり、彫り込まれている文字を見ると、その当時の流行りの落語家などの名前を見つけることができ、江戸の香りを漂わせ楽しませてくれます。平和大塔では立派な御本尊不動明王を参拝するとともに市川団十郎の足跡が



詳しく説明されているので、江戸の文化を知ることができました。その後はものすごい人込みの中、参道を散策し、伝統的建築物を写真に収めました。やっぱり最後は、せっかくここまで来たので、鰻も食べました。(本当の目的)少し並んでくたびれましたがおいしく食べられたので満足でした。



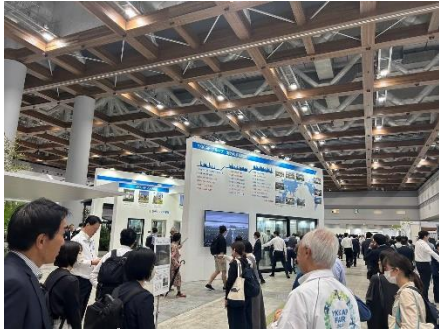
各支部活動報告<県央支部>

県央支部女性部長 飛田 直身

令和6年度の県央支部青年女性部の活動ですが、恒例となっています建築施設見学会をご報告させていただきます。

今年は2024年9月27日（金）にYKKAPフェア + 東京施設見学会が行われました。

メインは 東京ビックサイト YKKAP フェアです。



“想いをつなぎ、社会を幸せにする”をテーマにした住宅、エクステリア、ビル、産業製品、海外展開商品など国内外のYKKAP商品を視察してきました。国内外を問わない商品や、最新の技術が詰まった展示商品に参加者たちも興味深く聞いていました。業界初の非木造建築用窓施工ロボット「MABOT」など人手不足等に対応したDXの取り組みも発見できました。



そして当日最終には参加者との交流を深めるための懇親会・食事会がありました。東京の街が一望できる浅草ビューホテル スカイグリルbuffet武蔵で美味しく、楽しい時間を過ごしました。



各支部活動報告<土浦支部>

土浦支部女性部長 江ヶ崎 雅代

今年度も例年通りの行事を実施できたことを嬉しく思います。まず7月末に、「企画発表会」。今年度は新入会員さんがいらっしやらなかったのですが、歓迎会と兼ねられなかったことは残念ですが、美味しい食事をいただきながらのにぎやかな会となりました。役員改選の年でしたので、前部長の平山香菜子さんにプレゼント！お疲れ様でした！

9月にはつくば市内にて「見学会」。モーハウスが主催しているモーカフェにうかがい、オーナーの光畑由佳さんにお話をうかがいました。その後、いばらきデザインセレクションで知事選定を受賞した茗溪学園のトレーニング棟へ。設計者のとりやまあきこ氏に案内と説明をいただき、盛り沢山で充実した見学会となりました。

そして11月は「ふくまち講演会」を、まちづくり委員会や青年部にもお声掛けして実施しました。筑波支部の支部長の松田祐光氏に、筑波支部でのまちづくり関連の取組についてうかがいました。近隣の支部の取組をうかがうことは、とても刺激になりました。

12月は、「手作り教室&情報交換会」。今年度の手作り教室は、フィンランドの伝統飾りであるヒンメリ作り。ライムギのワラに糸を通していくという単純な作業ですが、なかなかの難しさ！その後の食事でも和やかに、皆さんの近況をうかがいながら、年末に楽しいひとときを過ごせました。来年度も楽しい企画を準備してまいります！



企画発表会



ふくまち講演会



ヒンメリ制作



モーカフェ内にて
光畑氏のお話をうかがっているところ



茗溪学園トレーニング棟の前で
設計者とりやま氏と集合写真

各支部活動報告<筑波支部>

筑波支部 沖山 素子

昨年度の主な筑波支部の活動をご紹介します。

9月につくば市上郷で「ノキジャムル」を開催しました。軒先・空き地・空き家といった「空きスペース」でマルシェを実施し、地域の食や暮らしを紹介するイベントです。建築士の目線で地域の「空き」から求心力のある「場」を創出するテーマで行われました。上郷活性化協議会の方々と一緒に竹ブースを作り、竹灯籠作りのワークショップを行うなど竹害問題にも取り組みました。

12月につくばみらい市 300石ワークショップを開催。日本大学理工学部、筑波大学、市役所職員参加による、まちづくりについての討論が行われました。今年度は筑波支部で内容をまとめ、つくばみらい市へプレゼンします。

会員数増強についてはスキルアップの活動や地域密着型イベントの実践、農業を建築的に考えてみるなど、魅力ある活動を積極的に行い内外に発信しています。筑波おろしで寒干し大根作り、六斗の森でピザ作り、ヤマモモ収穫など会員同士の交流も行われました。

竹灯籠の明かりが幻想的です！



各支部活動報告<県西女性交流委員会>

県西女性交流委員会 委員長 岩永 幸呼

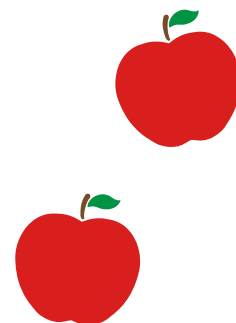
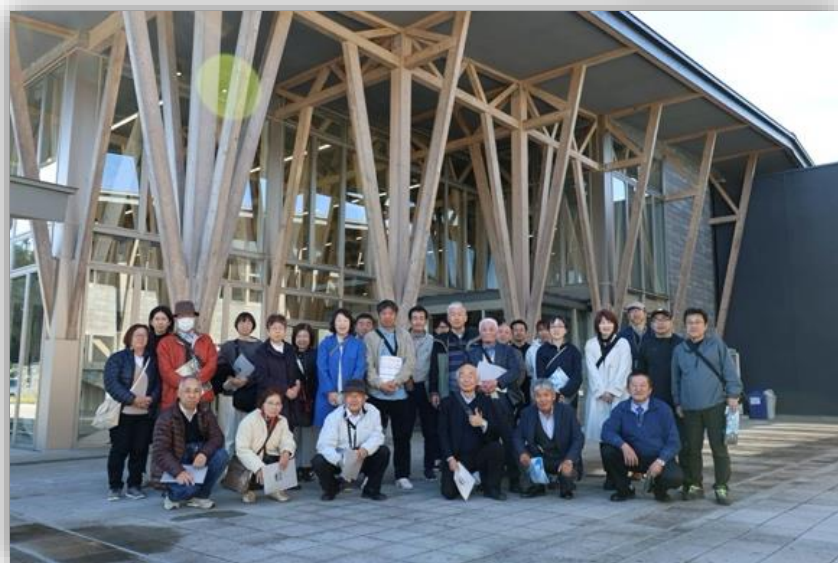
県西女性交流委員会は、筑西支部、常総支部、結城支部、坂東支部、下妻支部、古河さしま支部、桜川支部に所属する女性の交流会です。

県西協議会では年に一度見学会を行っており、その企画を県西女性交流委員会で行っております。企画会は5～6月頃、反省会は2～3月頃に、毎回お店を変えて昼食会形式で行っています。見学会の企画の会議は行ってみたい建築をリストアップするので、勉強になります。雑談が多くなってしまいますが、メンバーはほとんどが個人で設計事務所や工務店を開業しており、同業者ならではの話題を気軽に話せる楽しい会になっています。ライングループを作り、意見交換と情報共有しています。

令和6年度は、地域産木材を活用した木の温もりを感じる「純木造の建築」として注目を集めている大子町新庁舎のバスツアーを企画しました。八溝山系の湧水を使ったクラフトビール製造の大子ブルワリー、CM やドラマのロケ地として使用された旧上岡うわおか小学校、丁度旬を迎えたリンゴ園に立ち寄り、有意義なツアーとなりました。

県西地域の女性でまだ参加されていない方がいらっしゃれば、是非お知らせ下さい。

連絡先 main@jikooyooen.com 岩永 幸呼



会員活動紹介

町家アートギャラリー（龍ヶ崎市）

土浦支部 眞鍋 道子



正面通りから見る外観



中庭からみる外観

不動産フリークの私たち夫婦は、広い敷地で古い建物がある物件を良く見て回って楽しんでいました。2020年、魅力的な農家住宅に出会い、買う一步前で売主の都合で買えなくなりました。そのことを私の友人の花屋さんに話したら、その家の前の古民家が売りに出ていると教えてくれました。それが龍ヶ崎市の商店街の通りに面していて、町家造りの建物だったのです。今まで出会った中で一番しっかりといて、きれいで一目惚れしました。1935年(昭和10年)、築90年の酒屋さんとして建てられた建物でした。

2020年暮れに購入してから、4年かかってギャラリー兼ガーデンラボにリフォームしました。自宅をリフォームしてもらった大工さんに暇な時に直してもらおうというスタイルで、壊してはゆっくり考えるという完成形が見えない、贅沢な、建築に関わっている仕事をしているからこそその作り方が出来ました。

2025年1月22日ギャラリーをオープンしました。企画画廊で、貸ギャラリーではなく、私たちがお願いしたアーティストの個展をします。龍ヶ崎市の砂町から文化が発信出来たらと思います。柳宗悦の民芸運動には及ばないですが、ていねいな生活、日常の大切さ、美しさを伝えられたらと思います。また地域固有の文化、街並み、生活様式を守れたらと思います。

ぜひ、建築女子として、一緒にこのギャラリーを使っていただいて皆と活動出来たらとも思っています。このギャラリーをどうぞ活用してください。



企画展「起-はじまり」の展示風景



2階

わくわくセミナーでは十一月に町家アートギャラリーの訪問を企画しています！

女性委員会メンバー紹介



土浦支部 和田 知子さん

筑西市の自宅で仕事をしていますが、土浦支部に所属しております、和田と申します。
一人事務所で主に公共建築の設計を中心に仕事をしています。

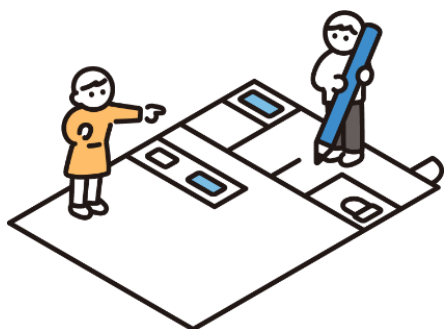
美大を卒業後東京の設計事務所に勤め、茨城に戻って、つくば、土浦の設計事務所勤めの間に資格を取り、事務所を開いて細々と仕事をしながら早15年経ちました。長年設計をやっていてもまだまだ知らないことや初めてのことも多く、日々奮闘しています。

仕事中心の忙しい毎日ではありますが、子供の頃から音楽、特に歌が好きで、数十年来、声楽を学んでおり、今年は初めてコンクールにチャレンジすることを目論んでいます。

仕事柄ずっとパソコンに向かって時間が長く、趣味の歌でもさほど体を動かすことが少ないため、資格を取った頃にロードバイクを始めましたが、こちらは永遠のナンチャッテで、年に数回サイクリングに出かけたり、という程度です。

仕事と歌、たまの運動、日常の生活だけで手一杯ではありながら、小学生の頃に習っていた書道はいつかまたやりたいなあ、という思いも持っています。

狭い世界で毎日を過ごしているため、女性委員会の際には、皆さんの持っている情報や活動の話に大いに刺激をもらっています。皆さんとお話できるのを楽しみに、活動に協力したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



女性委員会メンバー紹介

筑波支部 沖山 素子さん



昨年より女性委員会のメンバーとして活動させていただいております、筑波支部の沖山素子です。食べることが大好きで美味しいものを求めてよく旅をします。最近では牡蠣を食べに広島へ、お好み焼きを食べに大阪へ行きました。自分で料理をするのも好きでお店で食べたものを自宅のキッチンで再現して楽しんだりしています。お家の設計をする時もキッチン周りの計画はあれこれ想像しながらワクワクします。

昨年度の女性委員会の記念式典はメンバーの皆さんと準備をすることでとても楽しい時間を過ごすことができました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

女性委員会のメンバーは、多才で、皆さんいろんなことに挑戦しています。会議の時は企画を練るほか、情報交換したり、他愛もないおしゃべりをしたり…楽しく活動しています！

—女性委員会—



令和7年度 女性委員会セミナー年間スケジュール				
月	わくわくセミナー		ラフアークセミナー	
	テーマ	担当者	テーマ	担当者
4	曳家について	江ヶ崎 雅代		
5	見学会：境町の建築物	平山 香菜子 (平島 かよ子)	宮大工のしごと	轡田 久恵 浜中 本子
6	法改正 ～4号特例・構造について～	池田 恵子		
7	住宅の防犯について	久保田 綾子	改正あれこれ	篠根 玲子 金子 雅代 小貫 弘巳
	令和7年度 全国女性建築士連絡協議会 山形大会 7月19日(土)、20日(日)			
8	休み			
9	シャワーブースについて	橋本 珠美	インテリア講座 「スタンドグラスワークショップ」	浅子 明美 石井 裕子 近藤 あすか
10	チリウヒーターについて	池田 由紀代		
11	町家アートギャラリー訪問	大谷 美由紀 (眞鍋 道子)		
12			養蜂について知ろう 第二弾 巣箱の作り方	大谷 美由紀 桑原 文子 平沼 清美
1	企画会 & 新年会	川浪 せつ子	企画会 & 新年会	柳下 文江 石黒 洋子
2	防災・被災後の暮らしについて	若柳 綾子	ベットと住まいについて学ぶ 「ベットと快適に過ごそう」	長山 智子 飛田 直身 鈴木 今日子

- ◆セミナーの内容、開催月は変更になることがありますのでご了承ください。
- ◆各セミナーのお知らせは、毎月の建築士会の発送物に同封されるほか、建築士会のホームページにてご覧になれます。
- ◆事務局連絡先：(一社)茨城県建築士会

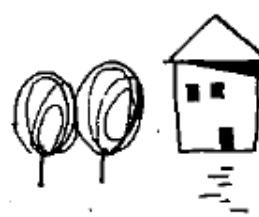
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町 978-30 建築会館 2F

営業時間：9時～17時（昼休み12時～13時）

Eメール：kyy05413@nifty.com

TEL 029-305-0329 FAX 029-305-0330

建築士会携帯サイト



出戻り委員の感想と近況！

久慈支部 梶ひろみ

思い起こせば平成8年から4期8年、前身の女性部会で活動をしました。その後 令和6年までまちづくり委員会に専念し、今期再び女性委員会にお世話になっております。委員の皆さんは世代交代を果たし、サクサクと委員会業務が遂行されていて頼もしい限りです。あえて変革は選択せず、大切に積み上げながら多様性と奥行きが増しているとも感じます。仕事プラス家事・子育て・介護と家族を支えることが女性の大きな役割で、ジェンダーが取り払われつつある昨今も負担はあまり変わりません。そんな中、様々なプレッシャーをかわしつつ、学びと楽しみを獲得する女性委員会の活動は、会員減少時代に大いに参考になると思っています！

梶の地域活動近況ですが、まち歩きやセミナー等でたくさんの士会の方々にお越し頂いた「盛金 WAC 廃校活用」や、「コミュニティカフェ結」の運営は諸事情で終了となりました。お越し頂きました皆様には御礼申し上げます。現在は、地元 NPO で文化財建造物管理活用のお手伝いと、自宅畑にて奥久慈漆の育成・苗木づくりを行なっております。文化財だけでなく建築材料でもある茨城産の漆について、以前の情報を大きく刷新しご紹介できる機会が作れればと考えております。お楽しみに！



奥久慈漆ギャラリー



うちのウルシ畑



ウルシ苗畑



ウルシの実



冬のウルシ畑



漆の精製(クロメ作業)



漆掻き作業



小貫委員長お疲れさまでした！

コロナ禍で大変な時期の4年間、委員長として委員会をまとめ、引っ張って頂きました。ありがとうございました。小貫委員長のお疲れさま会を思い出の(女性委員会 30周年記念式典開催)ときわ邸Mガーデンで行ないました。小貫さんは今期も委員として女性委員会で一緒に活動していきます。引き続き、よろしくお願いいたします！！

◇編集後記◇

アイラルネットワーク82号をお読みいただきありがとうございました。本年度も、各所からたくさんの方の活動報告を頂きました。お写真を見ていると皆さんの楽しげな様子が伝わってきます。コロナ禍を抜け、皆さんと集まり、共に活動する喜びを改めて感じました。

末尾になりますが、発行にあたってご寄稿、ご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。

(行方支部 大谷美由紀)



おまけ～NAMEGATA 建物探訪～

編集担当者の地元、行方市玉造地区の『reZOU』をご紹介します。木造2階建て築100年の蔵をリノベーションした一棟貸しの民泊です。窓を開けると広がる田園風景、木組みとシックい壁の美しいお部屋は癒しの空間。オーナーこだわりのステンドグラスの嵌められた窓や素敵な家具や調度品も見どころです。



外観 正面



2階 客室



アイラルネットワーク第82号 令和7年4月発行

編集 (一社)茨城県建築士会女性委員会

担当：大谷美由紀 梶ひろみ

事務局 〒310-0852

茨城県水戸市笠原町 978-30 建築会館 2F

Eメール：kyy05413@nifty.com

TEL 029-305-0329 FAX 029-305-0330